

令和5年 飯田市教育委員会1月定例会会議録

令和5年1月17日（火） 午後 3時00分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子
教育委員	野澤 稔弘

【出席職員】

参与	松下 徹
学校教育課長	桑原 隆
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長	宮下 利彦
市公民館副館長	秦野 高彦
文化会館事業係長	木村 喜宣
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼教育企画係長	代田 暢志
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） それでは予定した時刻になりましたので、令和5年1月定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。1月定例会の会期を本日1日とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録署名委員の指名。会議録署名委員を北澤正光教育長職務代理者をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） では、よろしくお願いいたします。

○教育長職務代理者（北澤正光） はい。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認。12月定例会の会議録をご確認いただきたいと思えます。

何かご意見があればお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。ご承認いただきました。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは、日程第5、教育長報告事項。

別紙をご覧くださいと思います。

12月から1月にかけて参加させていただいた行事等の報告をいたします。

長野県青少年健全育成県民大会が、飯田文化会館で12月17日に行われまして、飯田が会場ということで、飯田市も主催者の1つということで、南信州おもしろ科学工房代表の三

浦さんが、「あっと驚く感動体験から、ふしぎの心を育てたい」という演題で実践発表をしていただきました。また、アトラクションでは、飯伊童謡・唱歌をうたう会と追手町小学校の合唱団の皆さんによる合唱が披露されて、大変地元の良さをアピールしていただいたなあと思います。

講演のほうは、性教育のあり方について、実際に高校の先生として実践をされている水野哲夫氏から、日本の性教育の実情と課題を教えてくださいました。

それから12月21日、鼎文化センターで地域人教育の成果発表会がございました。飯田OIDE長姫高校の商業科の3年生が中心となって、飯田市内の市民の皆さんと、あるいは住民の皆さんと実践した研究活動の報告として、そのテーマが裏面にありますようなテーマで発表をしてもらったわけでございます。

それぞれ、地域の教材をテーマに設定して、問いを立てて仮説を実証していく学びの発表ということで、10のグループに一・二年生の発表も加えて行われました。公民館がハブ機能を果たしていて、地域の皆さんが高校生に大変協力をいただいていた。その地域の課題解決、あるいは活性化に向けたプロジェクトを進めた成果が多様で、失敗も実際に発表していただいて、そういう部分も含めて学びのある学習になっていたなあというふう感じておりました。

それから新聞報道でもあったかと思うのですが、労働金庫の飯田支店から放課後児童クラブへ本、あるいは玩具等を寄贈いただきました。実際にプレゼントに行くと、「子どもたちが待っていてくれて、そのおもちゃを喜んでくれた」という、そんなお話もお聞きしました。

4番については、後でまた公民館のほうで報告がございますので省略しますが、やっぱり学校時代、特に小学校・中学校時代の思い出というのはとても大事ななあということを感じた次第でありました。

それから最後の5つ目ですが、藤本四八小中高生の写真賞表彰式が1月15日に行われました。選定についてはこの間ご説明したとおりなんですが、入賞作品は美博に展示されています。1番の賞に選ばれたのは、下久堅小学校の四年生の作品で、お兄ちゃんが弟を「すごい、すごい」と褒めている、そういったあたたかい瞬間の写真です。ある高校生の入賞のコメントに、自分の感性を認められたということをすごく喜んでいた感想がありました。このことがまた入賞した彼らの次につながるといういいなあと思いましたし、こういう賞で認められる機会というのも、とても大事ななあということを感じた次第でありました。

私からの報告は以上でございます。

日程第6 議案審議（4件）

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第6、議案の審議に入っております。

本日は、4つの議案についてご審議をいただきます。

議案第1号 飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 議案第1号、「飯田市平和祈念館の展示・活用検討委員会委員の委嘱について」。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） それでは、本日の資料4ページをお願いいたします。

議案第1号についてご説明申し上げます。

本案は、飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会の委員の委嘱についてでございます。飯田市平和祈念館展示・活用委員会設置要綱の規定により、議案に記載の13名の方を委員に委嘱したいとするものでございます。

別紙でお配りした祈念館の設置要綱をご覧くださいと思います。

飯田市平和祈念館には、市民の皆さんから寄贈いただいた戦時下の遺品等の資料を通して、平和とは何か、そのために何をすべきかを考え、次世代に平和の大切さを語り継いでいくことを目的に、昨年5月、ムトスぶらざに開館をしました。

見学をいただいた方から評価や改善点を含め、様々なご意見をいただいております。第1条に記載のとおり、祈念館の展示、今後の活用のあり方について、幅広く様々な立場の市民の皆さんからご意見をいただく場として、新たに展示・活用検討委員会を設置し、いただいた意見を踏まえ、展示内容をより良いものにし、さらなる施設の活用につなげていきたいと考えております。

設置要綱の第2条では、委員の任務、第3条では組織として委員の定員や委嘱について、第4条では任期、第5条では会議についての定めをしております。

委嘱する委員の氏名、所属、種別の区分につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

なお、委員の任期につきましては、令和5年1月1日から令和6年12月31日までの2年間でございます。

本日、お認めいただきましたら、日程調整を行い、第1回目の会議を開催してまいりたいと思っております。

よろしくお願ひいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第1号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願ひいたします。

上河内委員。

◇教育委員（上河内陽子） 今回、この平和祈念館の展示について、いろいろな意見があるというところで、こうした委員会の委員が委嘱されることになりました。

この地域にも、人々がたくさん戦争を体験し、被害にあったり、または加害を体験したりと、いろいろな経験をお持ちの方がいましたので、そういったことを今後も語り継いでいくということはとても大事だと思います。

その中で、多くの人たちがそれを考えていくことが非常に大事だと思いますので、今回この委嘱される13人の方々を見ますと、今まで本当にいろいろ戦争について研究されたりとか、また考えたり、市民の中でもいろいろ考えている方がいらっしゃると思いますので、皆さんで考えながら、より良い展示にしていき、そして戦争を語り継いでいける、そういった機会になればいいなあと、平和を願う気持ちを大事にして語り継いでいければいいなあとと思います。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

さらにいかがでしょうか。

北澤正光教育長職務代理、お願いします。

○教育長職務代理者（北澤正光） 基本的には今、上河内委員がおっしゃったこととほとんど同じだと思います。1月10日頃でしたか、NHKの「歴史探偵」を見ました。その回は特集だったのですが、令和4年の1年間だけでも、今まで歴史的に定説と言われていたことが、科学の進歩や新たな資料の発見などで、定説されていたことが変わっていったというような内容でした。そうした例を見ても、歴史というのは、一般的な科学とか芸術とかとは趣が違ふ。厳密な意味での客観性というか、客観的なものを認めていくというのは、なかなか難しい部分があると思っています。

歴史の解釈一つをとっても、事実からどういう理念を導き出すのか、一人ひとりの解釈とか思いとか、そういうものでも見方が違ってくるといったようなこともあるわけです。そういった意味で、この祈念館の展示の内容についても、特に公立の施設としてどういう範囲のものを、展示していくのが適当かといったようなことについては、判断を迷われたりする部分があるかと思っています。

そういう点で、今回こういう展示の活用・検討委員会といったものを立ち上げて、多様な立場の方、それから委員の候補者を見ると高校生に近い方も入っているのですか。これは後で教えてもらえればですが、多様な年齢の方が入っていると推察されるのですけれど、そういう多様な立場の方たちから展示の内容等について意見をいただいて検討いただくことは大事だと思います。

中でも、一番大事なことだと思っているのは、その展示に至る経過等について、より透明性や客観性を持たせた展示をしていくという部分で、こうした委員会を立ち上げて進めていくということは、とても大切なことだと思っています。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

この飯伊高校生平和・人権・多文化ゼミナールは、伊藤課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 議案書にあります平和・人権・多文化ゼミナールの方につきましては、特に高校生中心の講座を今年度から開催をしておりますけれども、その指導にあっている方と、この地域の出身の方で、高校時代にそういう平和学習をして、現在は大学生であったり社会人であったり、そういった方に関わっていただいておりますので、そういった方からお一人代表として委員に委嘱したいという考え方でございます。

○教育長（熊谷邦千加） ゼミナールのほうからは二人ですね。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） ゼミナールからはお二人でございますが、お一人は先生の経験がございます。もう一人は若い世代の方でございます。

○教育長職務代理者（北澤正光） はい、ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

さらにはございますか。

では、三浦委員さん、お願いします。

◇教育委員（三浦弥生） 今まで委員の皆さんたちが言われていたことと同じ内容になります。

飯田市平和祈念館がある意味というのは、本当に戦争の悲惨な事実といったものを知って、今を生きる私たちの平和についてしっかりと考えていくことができる、そういったことが目的であると思います。

ただ、その平和の事実といったものが、いろいろな方面から見て、いろいろな解釈ですとか考え方があるということを考えますと、やはりこういった委員会の席で、今、ここに委嘱で挙げられている所属の様々な人たちの意見を聞く中で、しっかりと私たちが平和について考えていかれる内容でまとめていただくといったところが、本当に大切かなと思いますので、こういう委員会をもってこの所属の皆さんたちに委嘱をお願いすることが適切

かと思えます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） それでは、議案第1号の飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会委員の委嘱について、ご承認いただくということによろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） お認めいただきましてありがとうございます。ご承認をいただきました。

議案第2号 飯田市教育功労者表彰規程の一部を改正する訓令の制定について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第2号、「飯田市教育功労者表彰規程の一部を改正する訓令の制定」につきまして。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） それでは議案第2号についてご説明申し上げます。

資料は6ページ・7ページでございます。

本案は、飯田市教育功労者表彰規程の一部を改正する訓令の制定についてでございます。表彰規程の別表Ⅰの表彰状授与対象者のうち表彰者の種別1、公民館長の職にある者の表彰の基準を改正したいとするものでございます。

右側の資料7ページをご覧くださいと思います。

現在の表彰の基準では、公民館長の職にあった者がその職に就く前、あるいは後に他の職に就いていた事例に対しまして、その複数の職にあった期間を通算して表彰状授与対象者とできる基準とはなっておりません。一方、表彰の種別2の公民館長以外の職、(1)番の社会教育委員から(14)番の歴史研究所協議会委員までございますけれども、こちらについては、複数の職で通算して8年以上であれば表彰状授与対象者とすることができるという規定になっております。

今回の改正では、表彰の基準、公民館長の基準のところ(2)とし「その職にあった期間と、」表彰者の種別「2の職にあった期間を通算して8年以上であった者」を追加し、公民館長の職を一定期間務め、さらにほかの職も務めていただいた場合に、その期間を通算して表彰状授与対象者としてほしいという考えから提案をするものでございます。

なお、議案書下段の附則のとおり、今回の改正をお認めいただいた場合には、令和4年度に行う表彰から適用してまいりたいと考えております。

以上、よろしくお願ひいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第2号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願ひいたします。

表彰の基準のところを改正したいというものでございます。

よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

議案第3号 飯田市教育功労者表彰者の決定について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして第3号議案、「飯田市教育功労者表彰者の決定について」。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） それでは資料8ページ・9ページをお願ひいたします。

第3号議案につきましては、飯田市教育功労者表彰者の決定についてでございます。飯田市教育功労者表彰規程の第3条の規定により、議案に記載のあります24名の方を教育功労者に決定したいとするものでございます。

24名全員の方が、先ほどご覧いただきました表彰規程に基づく表彰状授与対象者でございます。公民館長のほか、公民館の専門委員など、長年にわたりお務めいただいた皆さんで、基準にあります通算して8年以上その職にあったという基準を満たしている方々でございます。

氏名・公民館名・功労内容につきましては、議案に記載のとおりでございますので、ご確認をいただきたいと思ひます。

なお、9ページ上から2人目でございますが、久保田克彦様につきましては、先ほどの第2号議案で規程の改正をお認めいただいております。久保田様につきましては、公民館長だけでは6年に満たない方でしたが、そのほかの職を合わせて8年以上に該当するということで、今回の改正に合わせて該当する部分でございます。また、久保田様につきましては、伊豆木人形クラブの後援会長ということで13年間、伊豆木人形の復活にも関わってきた方ということでございますので、そういったお務めをいただいた功績も含めて、今回表彰の対象とさせていただきますと思ひます。

なお、表彰式につきましては、2月19日に開催されます飯田市公民館大会の中で表彰の伝達を行う予定でございます。

以上、よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第3号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「特になし」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、お認めいただきましてありがとうございます。

議案第4号 令和4年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（熊谷邦千加） では続きまして、議案第4号、「令和4年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について」。

桑原学校教育課長。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは、議案第4号、「令和4年度飯田市就学援助費支給対象者の認定について」でございます。

認定対象者につきましては、別冊で用意をさせていただいたとおりでございます。

それぞれ記載をいたしました認定要件にて、認定いただきますようご提案申し上げます。

よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 別紙をご覧いただいた上で、ご意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、それではご承認いただいたということでありがとうございます。した。

日程第7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程の第7、「協議事項」に入ります。

（1）令和4年度卒業式及び令和5年度入学式について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に「令和4年度卒業式及び令和5年度入学式について」。

桑原学校教育課長。

◎学校教育課長（桑原 隆） それでは、令和4年度卒業式及び令和5年度の入学式の取扱いにつきましてご協議をお願いしたいと思います。

ここ2年ほど、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業式・入学式の対応について、教育委員会より各学校に通知をしております。今年度の卒業式も再来月ということで近づいてまいりました。教育委員会から各学校長宛てに通知を出したいと思いますので、内容をご確認いただければと思います。

社会全体の状況といたしますと、行動制限がなくなったり、対策をしながら行動しましょうといったような雰囲気です。一方、県内の感染レベルは5という最大警戒でございますし、医療非常事態宣言も出されている状況です。小中学生、児童・生徒にもコロナの感染も確認されているような状況を踏まえまして、学校ごと、規模・感染状況も違うし、また3年目ということもあって、それぞれ感染拡大の防止は考えながら、それぞれ状況により学校で判断できる部分を多くするような通知ということで考えさせていただきました。

通知は、卒業式を想定して卒業生というような表現になっておりますが、1の参加者としたしましては、卒業生、それから卒業生の保護者を2名まで、それから教職員、それから在校生につきましては、学校の規模によって状況が違いますので、十分な距離を確保できる等、感染予防ができれば参加可能といったような表現とさせていただきました。

(5)の来賓でございますが、これも学校の規模によって状況も異なりますので、地域で日頃からお世話になっている方々、学校運営協議会の委員さん等を中心に、人数を絞って感染対策を十分に行った上で招待をしていただければというような内容にしてございます。

2の式次第ですが、式次第を改めて見直していただいて、必要な時間で終わるような工夫をお願いすること。

それから式の中での歌でございますが、感染対策が十分に講じられると判断できる場合は可とするということにしたいと思っております。

その他ですが、卒業生を祝福する気持ちの伝わる温かいものになるように各校工夫をお願いしたいこと。それから事前に教育委員会よりメッセージを送りたいこと。それから新型コロナウイルスの今後の状況によっては、また変更する必要があるということをつけ加えて、通知を出したいと思っております。

ご協議、ご確認いただければと思いますのでよろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました件につきましてご協議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

はい、上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） ありがとうございます。

学校の規模によって判断を委ねるといふ部分もあるかと思うのですが、卒業生の保護者2名までというのは、それは学校ごとに委ねるっていう方向にはしないほうがいいのか、したほうがいいのかどうなんだろうというふうにちょっと思いました。

それと、多分別室でオンラインで行うっていうことも昨年まで行われていたと思うのですが、そういったオンラインの式のようなものも、学校ごとの判断に委ねるといふふうに考えてよろしいでしょうか。

以上、2点です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、桑原学校教育課長。

◎学校教育課長（桑原 隆） 保護者2名の考え方でございます。

昨年度も保護者2名までとお願いしながら、ただ、十分な距離が確保できない場合は1名までってというような追加の記載をしておりました。その1名までといったところを削除させていただいて、最大2名までという表現に統一させていただければという考えでございます。

この保護者の人数につきましては、2名であれば大体、保護者の方々のご要望が聞けるだろうということ。それからここは、学校の規模によって当然入れるとこ、入れないところがあるのですが、この保護者については全28校、教育委員会としては統一したほうがいいのではないかという判断から、ここの記載につきましては保護者2名とさせていただきますので、ご意見等いただきご協議をいただければと思います。

それから在校生のオンラインでございますが、昨年度は距離が十分確保できない場合は在校生の式場への入室はご遠慮いただいて、オンライン等での活用というようなお願いをしておりましたが、オンラインの開催もほぼ通常化しておりますといたしますか、普通に考えられるような状況になってきておりますので、今回の記載については、距離が確保できるなど対策ができれば、在校生の方々にもできるだけ入っていただければというような思いを込めてこのような記載をしております。もちろんオンラインでも可能ということでございます。

○教育長（熊谷邦千加） そうすると、学校判断となるのは（4）番と（5）番というふうに考えてよろしいでしょうか。

◎学校教育課長（桑原 隆） はい。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

上河内委員さん、よろしいですか。

◇教育委員（上河内陽子）　そうですね。1名だとやっぱり寂しいなあと思ったので、2名ということは、昨年に比べて大変ありがたいかなあとは思っております。

ありがとうございます。お願いいたします

○教育長（熊谷邦千加）　さらにいかがでしょうか。

北澤正光職務代理、お願いします。

○教育長職務代理者（北澤正光）　比較的規模の小さい学校の場合は、そんなに判断は迷わないでいけると思うのですが、子どもさんの数が多い学校の場合にいろいろ悩ましいところがあると思います。振り返ってみると、例えば、今年卒業する中学生たちは、コロナ感染症対応が突然始まったの小学校卒業式、中学校入学式で、そして卒業式を迎えるという流れで、学校訪問して話を聞いてみると、「全校で揃っての校歌合唱を、中三の文化祭になって初めて歌えた」とか、「全校で歌えることを目標に、何とか学校運営をしてきた」とか、「初めて全校で校歌が歌えてすごく感激した」といった話を、つい先頃の学校訪問で聞いてきたところです。

ですから、最終的には学校判断ということになると思うのですが、なるべく状況を緩めていただいて、子どもたちが本当にこの学校で、特に中学生なんか「3年間学べて良かった」といった思いで、卒業してもらおう節目をつくる意味で、こんなようにしていただいたことはとってもよい。特に1の（4）と（5）です。

この方向で進めていただいて、できればなるべく多くのお子さんが一堂に会して式を迎えられれば、もっと有難いと思っています。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加）　はい、ありがとうございます。

さらにいかがでしょうか。

野澤委員さん。

◇教育委員（野澤稔弘）　人が集まるということは非常に大事なことだと思いますので、どんどん推進していくほうがいいのかというふうに感じています。

一点、「十分な距離を確保」というこの「十分な距離」というところだけどうなんですかね。学校に委ねていくという形なのでしょうか。それとも何かに基づく指針みたいなものがあるのでしょうか。この部分を明確にしてあげれば学校側も対処がしやすいのかなと思いますけれど、いかがでしょうか。

○教育長（熊谷邦千加）　桑原学校教育課長。

◎学校教育課長（桑原 隆） 十分な距離というのが確かに曖昧な表現で、何か基準があったほうがいいというご意見かと思いました。

昨年度は、感染予防のための距離ということで、文科省等からも目安として出されている数字を準用させていただいて、前後左右1 mという表現を十分な距離とさせていただいていたんですが、あえて削除をさせていただいたというような状況でございます。

この1 mという距離は、学校のほうではもちろん承知している数字でございますので、ここにわざわざ書く必要もないということと、そこが95 cmでもいいのじゃないかという思いもございまして、このような表現にさせていただきました。

◇教育委員（野澤稔弘） それ聞いて良かったです。

ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） できる限り多くの人に祝っていただけるようなという方向性で、緩めていきたいということです。委員さんたちもそういうお考えでよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（2）少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（2）「少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について」。

代田学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼教育企画係長（代田暢志） 協議事項の（2）少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組について、資料No.2-1、それから別紙で用意してあります資料No.2-2「H a g u」になります。この関係について、ご説明をさせていただきます。

保護者アンケートの取組の状況について経過報告させていただきたいと思います。

保護者アンケートにつきましては、12月の教育委員会の定例会で報告しましたとおり、今月の10日から保護者宛てに配布をいたしまして、現在、保護者の方々に回答をいただいているところであります。

アンケートの内容につきましては、12ページから14ページの3ページにわたり13の項目で設定させていただき、回答をお願いしたところであります。

また、別添の教育情報誌「H a g u」と一緒に市内小中学校の全校の児童生徒に加えまして、保育園・幼稚園・認定こども園に通う年中・年長児を対象として配布を行いました。小学校に約5,100人分、中学校に2,700人分、園には約1,500人分、合わせて9,300人分の

アンケートを配布しておるところであります。ただし、兄弟が同じ小学校や中学校に通っている場合につきましては、1回の回答ということでお願いしておりますので、回答いただける保護者は約7,600世帯が対象になるというふうに想定をしているところでもあります。

1月18日、今朝の段階で7,600世帯のうち、2,200余りの回答をいただいているところでもあります。アンケートの回答の期限は、1月20日をめどにお願いをしておりますので、今週末にかけて回答がよせられるものと考えているところでもあります。

今回の保護者アンケートから、子育て世帯の学校に関する考え方や学校現場に関するご意見、またこれからの学校のあり方に関する思いを集約してまいります。

これらのアンケートの結果をもとに、事務局で検討してきている配置・枠組みに関する研究、学校運営協議会における特色ある学校づくりの意見交換について、3月に開催する第3回の取組研究会に報告させていただき、これらをもとに今後の進め方について協議・検討いただくことというふうに予定しているところでもあります。

説明につきましては、以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました件につきまして、ご協議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

はい、上河内委員さん

◇教育委員（上河内陽子） 1月10日に私も中学生の娘が持って帰ってきましたので、アンケートをQRコードから入って回答いたしました。

設問については、選びやすくなっており、あまり迷うことなく選ぶことができました。また、「H a g u」に書かれましたこの概要ですね。今の持っている課題についての概要が大変分かりやすくまとまっていたので、これを目で追いながら、いろいろ考えながら、回答することができましたし、皆さんもできるのではないかなあと期待していますので、回答結果をまたフィードバックしていただけることをお待ちしております。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

実際にやっていただいた感想をいただきましてありがとうございます。

さらにいかがでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） よろしいですか。それでは、結果が出たところでご意見をいただければと思います。

ありがとうございます。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） それでは日程第8、陳情審議でございますが、陳情審議は今回はございません。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程第9、その他に入ります。

(1) 教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） (1)「教育委員報告事項」ということでございますので、ご用意できた方から結構でございますがいかがでしょうか。

はい、上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） 1月8日、令和4年度の羽場・丸山地区、二十歳の集いに参加させていただきました。

昨年同様、丸山小学校の体育館で広がったものですから、幸いにも呼んでいただけることとなりまして参加いたしました。昨年よりも少し感染対策についての緩和があったおかげで、昨年は無かった祝賀会もプラスされて行われました。

参加されたのは、101人の地区の二十歳の方のうち64人ということで、60%ちょっとの参加率だったです。ちょっと調べると、全国的に平均6割ということなので、この地区も同じくらいの二十歳の方が集まりました。

久しぶりに先生と行き会ったり、仲間の話を聞いたりしながら、ちょっと元気な学年だったので、私も知っている学年だったんですが、その元気な子たちが成長したなあという感じで、まぶしく感慨深く参加させていただきました。

以前、野澤委員がおっしゃったように、そのきらびやかな、やっぱりきれいな、特に女子たちは本当にきれいな振り袖を着て準備が大変だろうなあというふうに思いました。こういった機会に振り袖を着るとするのはとてもいい機会だと思いますが、確かに大変お金もかかるんじゃないかという心配も感じられました。何かよくあるような格安で着物が着られるとか、何かそういったサービスがあるといいのかしらなんて考えながらも、一生に一度、成人式に着物を着るという機会も女性にとっていい機会ではあると思いつつ、派手になるのもこの今のような世の中でどうなんだろうと思いつつも、やはりいい機会をいただいて私もお祝いをさせていただきました。

どうもありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

では、三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生） 前回は引き続きではないですが、本当に視察研修、今日もありがとうございました。

本当に今日も飯田市考古博物館、秀水美人画美術館ということで、全く私、初めてのところを見させていただいて、説明もきちんとしていただいて本当にありがたかったです。

このコロナ禍ということで、外に出た研修ではないですけれども、本来、委員として飯田市の社会教育について知っておかなければいけないことを本当にこの機会にしっかりと知ることができる、こんな研修を与えていただけたことに本当に感謝したいと思います。

委員として、またこういう場面で発言するときの、また一つの自分なりの知識にしていきたいと思います。

今日はありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加） はい、よろしいですか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（2） 参与報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは「参与報告事項」。

◎参与（松下 徹） 特にございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（3） 学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（3）「学校教育課関係報告事項」に入っております。

◎学校教育課長（桑原 隆） 特にございません。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（4） 生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、（4）「生涯学習・スポーツ課関係報告事項」。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 資料 15 ページ以降に飯田やまびこマーチ、昨年暮れに

実行委員会を行いまして、4月22・23日に開催するというので、その概要がまとまっておりますので、資料を添付させていただいております。

16 ページでございますが、今年度、昨年との変更点としますと、飯田下伊那の方については当日受付もできるようにということで今、進めております。

17 ページは、全市型競技別スポーツスクールの12月末現在の数字でございます。右下のところは令和3年度との比較ということで数字を入れてありますので、またご覧いただければと思います。

18・19 ページにつきましては、全市型の関係でスポーツ障害の予防研修会を開催するというので、学校のほうでご案内したものでございますので、ご覧いただければと思います。

20 ページは、陸上教室ということで、市町村対抗駅伝の選手選考を兼ねた教室ということでご案内しておりますし、21・22 ページは飯田市のキャリア教育推進フォーラムということで、特に22 ページにつきましては、第2部のパネルディスカッションの参加者が決まりましたので、このような形で進めていきます。教育委員の皆さんには皆さんご出席いただけるということで、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。ありがとうございます。

（5）文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （5）番の「文化財保護活用課関係報告事項」。

宮下課長。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） 先ほどは、考古博物館、秀水美術館をご視察いただきましてありがとうございます。

担当が申しましたように、展示の内容を充実するというのも必要ですけども、当然それをサポートする、例えば案内に必要なこんなものがあつたらいいなとか、あるいは職員、人づくりという関係で、案内をする職員に、もうちょっとこうしていただけると分かりやすいかなとか、伝わりやすいかなあというようなことがありましたら、どんな機会でも結構ですので、ご忌憚のないご指導をいただけたらと思ひます。よろしくお願ひいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、先ほど三浦委員さんからご発言いただきました。何かもし今日、

見ていただいて、今のようなこんなふうになったらということございますか。

どうぞ、上河内委員。

◇教育委員（上河内陽子）　すごくロマンを感じましたし、時代をグワーッと駆け抜けるように説明して下さったのが、とても分かりやすく、展示されているものがより一層入ってきて良かったです。

なんか語りみたいなの、なんか講談師のような感じがしまして、そんな感じで聞き入ることができたので、もうまさに講談師の方に話をしてもらっても面白いんじゃないかとさえ思ったくらい大変面白かったです。

ありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加）　ありがとうございました。

では三浦委員さん。

◇教育委員（三浦弥生）　あそこは、いつも見学に行かせていただくと、あのような形でご説明をしていただくことはあるのでしょうか。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦）　ご希望いただけたらということで対応はさせていただいている。場合によって職員が不在ということもあつたりもしますけれども、できる限り対応していきたいと思います。

◇教育委員（三浦弥生）　市民はそれを知って行ったりは。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦）　ひょっとすると、その案内の表示が、されてなかったりとか。気づきの部分だと思いますので、その辺を考えていきます。

◇教育委員（三浦弥生）　今日のご説明は本当とても良かったので、そのような形をまたぜひと思います。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦）　ありがとうございました。

○教育長（熊谷邦千加）　さらに何かございますか。

北澤正光職務代理。

○教育長職務代理者（北澤正光）　教えていただきたいのですが、今日の議題の平和祈念館の展示・活用検討委員会と同じようなことですが、考古博物館については、展示・活用などについて検討していただく委員会等は特別にはないのですか。

○教育長（熊谷邦千加）　宮下文化財保護活用課長。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦）　当館の場合は、美術博物館施設の中に位置付けておりまして、美術博物館の中に組織されている、例えば運営協議会ですとか考古人文分野の評議会ですとか、あるいは社会教育委員会の中でもご意見をいただいたりとか、

そういったところを反映させていただきながら。

あとは文化財審議委員会の中でご意見を頂戴しながら、充実させるというような状況ではございます。

○教育長（熊谷邦千加） 資料7ページにある（9）の文化財審議委員会とか（10）の美術博物館協議会委員、こういうところで考古博物館も併せて協議いただいているということですね。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） はい。

○教育長（熊谷邦千加） 北澤職務代理、よろしいですか。

○教育長職務代理者（北澤正光） 分かりました。実際上の話、施設自体が離れている状態で行ったときに、美博のほうにも考古の関係のものがあり、こちらにもありみたいな部分があって、なかなか一本化して進んでいくのが難しいのではないかと。そういうことを感じていた部分でもあるのですが、美博のところ、こちらのことも併せて「活用等について検討していく」というご回答ですが、実際、話題になったり、どんなふうにしていくかということが内容として扱われたりしているのですか。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） 美術博物館施設のほうがメインとはなってきましたけれども、当然、考古の分野からの選出の委員さんもいらっしゃいますので、その思いといったところは、ご意見はいただいております。

集客という面では、やはり美術博物館の集客力は大きいので、表面的な紹介をしながら、さらに詳しくは考古博物館へというような形のご案内をしているというのが今の現状ではございます。

○教育長（熊谷邦千加） 松下参与。

◎参与（松下 徹） 若干補足させていただきますけれども、令和3年度から文化財保護活用課が飯田市考古博物館に事務所を構えることになりまして、その時点で考古博物館のあり方、方針についてまとめ上げをしました。

その方針に関しては、先ほど課長のほうからお答えをしました、美術博物館の協議会でとか、文化財審議委員会、またご利用されている皆さんからのご意見をいただきながら、まとめたところでもあります。

しかしながら、大きな展示替えまでは、市の財政状況もあって、でききれていないという状況でありますけれども、特に今日の説明の中心にあった国史跡である飯田古墳群の展示を主として充実をしていくということで今、その途上にあります。

国史跡の恒川官衙遺跡については、現在は公園整備をしていますけれども、そこにガイ

ダンス施設ができますので、完成後は本日の考古博にあった恒川官衙に関する展示資料については、そちらのほうに移して連携をとりながら観覧、学習に寄与していきたいと考えています。

○教育長（熊谷邦千加） はい、では野澤委員さん。

◇教育委員（野澤稔弘） 非常に興味深く拝見させていただきました。

私、生まれたところが仁徳天皇陵のすぐ近くで、御陵前っていうところで生まれているんですけど、全く前方後円墳なんていうのは分かりません、大きすぎて。そういうこともあって今日はすごく興味を持って見ていたんですけど、あの地域とこの地域がすごいつながりがあるということが分かって、すごくうれしかったです。

ただ思ったのは、あのような説明を、ちょっとぱっと見て分かるようなものがところどころにあるといいなと、説明員の方がいらっしゃらないときに来た人が、ぱっと見て分かるような何かが見たいなというように感じました。

今日すごくいいお話を聞けたので楽しく伺ったんですけど、あの方がいらっしゃらないと聞けないんですよねとか、分かんないんですよねってなってしまうと、何か寂しいなというのはあるので、そんな工夫をお願いできればと思います。「今度、コンテンツの組替えを」と参与さんもおっしゃっていらっしゃったので、その組替えを契機に、ちょっとそういうことを見直していただくことと、あと連携をとっていくという意味では、ここの部分に関しては、「あそこへ行くとまた楽しいものがありますよ」みたいな、そんな案内をまたそのところでやっていって、美博と遺跡のところと今日行った考古博物館がうまくつながるような工夫をされると、またもっと連携がとれやすいのかなあと感じました。

以上です。

◎文化財保護活用課長兼考古学博物館長（宮下利彦） ありがとうございます。

さっそく参考に、手づくりでできるところは手作りという形で反映させていきたいと思えます。ありがとうございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、よろしいでしょうか。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。

（6）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では、報告事項続けてまいります。「公民館関係報告事項」。

秦野公民館副館長。

◎市公民館副館長（秦野高彦） それでは23ページ、資料No.7をご覧くださいと思います。

2月19日に予定をしております第60回飯田市公民館大会のご案内でございます。

コロナ禍で令和2年・3年と2年続けて中止となっておりますので、3年ぶりの開催ということになります。「今こそみんなで考えよう～愉しく生きがいを感じる地域をめざして～」をテーマに開催をさせていただきます。

今回は、今までの公民館が、住民の主体となり地域づくりに大きく関わってきた、そのことを振り返りながら、学習的手法による観点で公民館の役割を一緒に考えるという機会にしたいというふうに考えております。

飯田OIDE長姫高等学校の地域人教育でもご指導をいただいております、松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科の教授、白戸 洋さんの基調講演と分科会でこれからの文化のあり方を考えてきたいと考えています。

お手元にご案内をご用意させていただきましたので、ご臨席を賜りますようよろしくお願いをしたいと思います。

続きまして、1月8日に開催しました飯田市二十歳の集いについてのご報告をさせていただきます。

20地区16会場で開催いたしました飯田市二十歳の集いでございますけれども、該当者数1,156名のうち733名、66.9%の出席でございました。

コロナ禍で、集うことが制限されてきたという中で開催できたことで、参加者にも様々な思いを与えたという実感を持っております。関わった地区の皆様からは、『『ここまで育てられたのは地区の皆さんや家族のおかげだ』と参加者が話してくれた』というお話も伺っております。

なお、例年、委員の皆様には、お住まいの地区にご参加をいただいておりますが、今回、コロナ禍ということで参加者の制限をさせていただいております、ご参加いただけなかった委員の方もいらっしゃいますので、各地区の実行委員会が作成をいたしまして配布をしております冊子をご用意いたしましたのでご覧をいただきたいと思います。

もう1点、口頭によるご報告となりますが、昨年12月24日に開催いたしましたムトスぶらざのクリスマスでございますが、この季節で初めて雪かきが必要な積雪となりまして、天気は残念な様子となっておりますが、多くの皆様のご来場をいただいております。

運営に携わった方などからは「やりたいと思う気持ちが本当になかった」との感想もいただいております、今後のムトスぶらざでは、新たな関わりが生まれ、創発につながるよう取組を進めてまいりたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 「文化会館関係報告事項」。

◎文化会館事業係長（木村喜宣） 特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（8）図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （8）「図書館関係報告事項」。

瀧本館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子） お願いします。

図書館では、2月に蔵書点検のための臨時休館を行いますのでお知らせをいたします。

2月7日から次の週の17日金曜日まで、土日を除きまして中央図書館・上郷図書館・駅前図書館・鼎図書館が交代でお休みをいただきます。7日から10日が中央図書館、14日と15日が上郷図書館、16日が駅前図書館、17日が鼎図書館ということで、図書館の所蔵する本が所定の場所にきちんとあるかどうか点検を行いますので、ご承知おきください。

以上です。

（9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） はい、続いて報告いただきます。「美術博物館関係報告事項」。

牧内副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 本日お配りしました「びはくにゅーす」の2月号をご覧いただきたいと思います。

表紙は展示の関係、裏面は講座関係を掲載しておりますので、また、ご覧いただければと思います。

先ほど教育長からお話ありましたが、藤本四八記念の小中高校生の写真展とその右側にありますが、今年度行いました子ども美術学校、大体60人の参加がございました。あと中学生造形教室、これは16人の参加がございましたが、1年間制作した作品を市民ギャラリーに展示しておりますのでご覧いただければと思います。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(10) 歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（10）の「歴史研究所関係報告事項」。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） 特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

それでは、公民館関係から歴史研究所までの報告事項につきましてのご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

(11) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） それでは（11）今後の日程について。

櫻井学校教育課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長（櫻井英人） 資料の3ページをお願いいたします。

ご覧のとおり2月はたくさん会議がございますのでよろしくをお願いいたします。

7日は小中連携・一貫教育推進委員会で、会場はここで行います。

10日が2月の定例会になります。市役所の2階の会議室で、いつもと違う場所ですのでご注意ください。

そのほか、11日はキャリア教育推進フォーラム、14日は飯田市校長会で、先ほど開催通知をお渡ししました。19日は飯田市公民館大会、20日は総合教育会議。21日は飯田市教頭会と続いての開催となりますが、ご出席のほうをよろしくをお願いいたします。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

会議室は市役所が使えない関係もありまして、外での会議が多くなりますが、よろしくお願いをいたします。

日程について何かご質問ございますか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

それでは、本日予定された議案等はこれで全てとなりますけれども、何かご発言がありますでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい。

日程第10 閉 会

○教育長（熊谷邦千加） 以上をもちまして、1月定例会を終了とさせていただきます。
ありがとうございました。

閉 会 午後4時02分